

UMC-Japanese Ministry
11 Highgate Terrace
Bergenfield, NJ 07621 [USA](#)

新サーキットライダー2011年9、10月号



United Methodist Church - Japanese American Ministry

合同メソジスト教会日本語ミニストリー

c/o The Church of The Good Shepherd, 326 New Bridge Road, Bergenfield, NJ 07656

Pastor Jun Yoshimatsu 牧師：吉松 純

Church: (201) 385-4100 Homepage: www.umc-japan.org

一つの区切り

今日わたしの命じるこれらの言葉に心を留め、子供たちに繰り返し教え、家に座っているときも道を歩くときも、寝ているときも起きているときも、これを語りなさい。更に、これをするしとして自分の手に結び、覚えとして額に付け、あなたの家の戸口の柱にも門にも書き記しなさい（申命記 6：6－9）。

長らくご無沙汰いたしました。皆様にはいかがお過ごしでしょうか。前回サーキットを書いたのは3月11日の東北（東日本）大震災の後で、復活祭に向けたメッセージでしたので、およそ半年ぶりです。

私事ですがこの半年間、とても忙しくも充実した時が与えられました。まずは博士論文を完成し、9年間在籍したコロンビア大学ティーチャーズ・カレッジを卒業。教育学博士号(Doctor of Education)、専攻：美術と美術教育を取得しました。父が日本から卒業式に出席するために駆けつけてくれました。1979年の終わりにアメリカに来て、足掛け32年になる滞米生活の中で父は何度もアメリカには来ていますが、「今回の訪米が一番良かった。」と言ってくれたので、少しは親孝行ができたかな、と思いました。

卒業式が終わると、直ぐにサマーキャンプの準備に追われました。今年は参加メンバーがほとんど入れ替わり、スタッフでキャンプ経験者は私と2年目のカウンセラー一名で、あとは皆キャンプ奉仕は初めてという顔ぶれで臨みました。始まるまでの「大丈夫かな？」という不安は、大きな祝福に変えられ、新しいメンバーの新鮮なアイデア、賜物、キャラクターが生かされキャンパー共々忘れられないキャンプとなりました。

その後、アメリカ人教会員（ほとんどフィリピン人でした。）とテントを持ってコネチカット州の自然公園にキャンピングに行ったり、日本から家族やキャンプ協力者をお迎えしたり楽しい夏休みでした。またこの夏は観測至上最高の40度越えの猛暑日があったり、20数年ぶりに体感した地震やハリケーン・アイリーンによる水害、停電があり、そして締めくくりには今年で10周年を迎えた9・11同時多発テロの追悼式がありました。

思えば10年前の9月11日の悪夢のような

事件、悲劇が私のコロンビア大での学びの始まりであり、教育の大切さを再度確信し、新しい伝道を模索し始めた切っ掛けとなりました。

9・11で長年関わってきた日米合同教会とSpecial Ministry to

Japanese (SMJ) 共催のサマーキャンプに参加した教え子のお父さん、高橋啓一郎さんが世界貿易センタービルで働いていた為落命し、私が葬儀をさせていただきました。9・11後の高橋さん御一家の苦悩、悲しみ、またその後も幾人かの被害者の遺族に接し、彼らが深い悲しみのうちに「何故、どうして？」という疑問を抱えながらも決して復讐や戦争を望んでいなかったのに（少なくとも私はそう感じました。）世論は次第に戦争に向けて煽られ、アメリカ市民の戦争肯定気分が高揚され、今も続いているアフガン、イラクでの戦争が始まってしまった。

私は教会で「復讐の愚」を語り、戦争反対を説きましたが、中には教会から去った方も若干いました。パークリッチ時代、他教会、ユダヤ教寺院などと毎年してきた公共の追悼式も今の町バーゲンフィールドでは最初の年に呼ばれて、戦争反対のメッセージをしたところ、2年目、3年目は呼ばれなくなりました。今年は私や牧師仲間の要望もあって式が二部に分かれ、一部は他教会、ユダヤ教寺院などと共に超教派で合同追悼式をカトリック教会でし、二部は町の公共広場で行うと言う形にし、私は一部にのみ参加しました。二部はあまりにも国粹主義の色が強く、戦争を肯定する人が多く、私は彼らとはとても一緒に同時多発テロ犠牲者の慰霊をする気持ちにはなりません。残念なことに彼らの多くが保守的クリスチャンで、イスラム教徒を目の敵にしたり、ユダヤ人とでさえ一緒に式をすることに異論を唱えるような人たちです。

本来、神の無条件の愛の上に、罪の「赦し」を受けているはずのクリスチャンが教会でも二分化し平和を唱える者と戦争を肯定する者に分かれてしまうとは何と愚かなことであり、悲しいことでしょう。

話が前後しますが、上述の通り私はこの9・11を通して教育の必要性を改めて確信しました。怒りや憤りに駆られ理性を失って何が信仰でしょう。本当に思いやりのある人を育成するには、自己中心を否定し神中心の生き方を教えるには長い時間をかけて教え育てるしかない、と私は思います。私が最初に神の召命を受けたのは30年近く前のことです。当時大学生だっ

た私はこれから先の人生の目的を見出せず悩んでいました。そんな折に日米合同教会のサマーキャンプで奉仕し、教育伝道の道が開かれ、キリスト教教育に進む道が与えられたのですが、9・11でその召命を思い出しました。

今年で同時多発テロから10年。しかし愛する人を失った方々には終息などないでしょう。かと言っていつまでも悲しみの深淵に留まっていたはいけない。その意味でも多くの自治体では公共追悼式は今年限りにします。勿論、個々の家族、教会などでは追悼式は継続していきますが10年一区切り、新たな出発です。私は信仰者として、教育者としてより良い社会を作るため何ができるかチャンレンジを受け今も思索中です。

社会が世界が新しく変わろうとしている。その中で教会がただ教勢（人数）だけを気にしたり、他者との交わりをせず内向きに歩むのではなく、より多くの人、取り分けやがては世界を担う子供や若者に何ができるか、何をすべきかを自ら問う時、その答えは聖書に見出せます。冒頭の引用は旧約聖書の申命記（モーセの時代3400～3200年前）からのものですが、既にこのような昔に私たちのすべきことを教えています。

一つの区切りは新しい始まりでもあります。新しい社会に向かって子供、若者を教え導くこと。これは教育者だけでなく、全ての大人の、クリスチャンのすべきことです。

吉松 純

礼拝予定：

- 9月
4日 礼拝、正餐式、Jr.教会、パン作り
11日 礼拝、Jr.教会、切手。9・11合同礼拝があるため礼拝後の交わりはありません。
18日 礼拝、Jr.教会、新学期の計画
25日 聖書の学び、礼拝、Jr.教会、奉仕を考える
10月
2日 聖書の学び、世界聖餐礼拝、Jr.教会、聖餐式について学ぶ
9日 聖書の学び、礼拝午後4時スタート、Jr.教会、リンゴ狩り午前11時30

分出発。

- 16日 聖書の学び、礼拝、Jr.教会、リンゴを使った秋の味覚
23日 聖書の学びはお休み、礼拝、ゲスト説教者：伊与田昭夫師、Jr.教会、ハンドベル
30日 聖書の学び、礼拝、Jr.教会、宗教改革と自分達の教会
11月
6日 聖書の学びはお休み、礼拝、ゲスト・スピーカー：TBA、聖餐式、Jr.教会、ハンドベル
13日 聖書の学びはお休み、礼拝、ゲスト・スピーカー：石倉久美子姉、合同メソジストNJ教区信徒伝道者。Jr.教会、ハンドベル

お知らせ：

感謝：



*本文でも書きましたが去る5月に吉松純牧師はコロンビア大学ティーチャーズ・カレッジ（教育大学院）を卒業し、教育学博士号を取得しました。皆様のお祈り、ご協力に心から感謝いたします。

*おめでとうございます！サマーキャンプにJr.カウンセラーとして参加し日本語礼拝に休まず出席していた平田寛佳さんは6月にテナフライ高



校を卒業し大学受験の為帰国されました。9月に帰国生としていくつかの大学を受験し、先日、まず早稲田大学教育学部に合格との連絡がありました。現在、他の大学も受験結果をまっているとのこと、おめでとうございます。主の導きがありますよう祈ります。

* 3年間教会に連なり礼拝を守られました、磯山秀夫兄、倫代姉のご夫妻は去る8月に帰国されました。お二人の日本での再出発が主に祝されたものとなりますようお祈りいたします。



*夏のキャンプはキャンパー22名が与えられ7名のカウンセラーと共にロングアイランドのキャンプクイニペットで7月10日から22日までの2週間弱共に過ごし、聖書の時間、アート、スポーツ、水泳、讚美他楽しいプログラムを通して神の愛、イエスの赦しなどを学びました。グッド・シェパード教会からも吉松牧師をはじめ、松尾光さんがJr. カウンセラーで、また村富奈津子さん、佳奈子さんの姉妹、本間李英さんがキャンパーとして参加しました。

* 9月17日(土) そのサマーキャンプのリユニオンが持たれ、キャンパー18名(今年の参加者22人中)と保護者、キャンパーの兄弟姉妹、キャンプ委員など総数40名が参加し、キャンプソングを歌ったりDVDを見て、その後、ピザなどを頂きながら楽しい交わりの時を持ちました。

* 9・11合同メモリアル・サービスが町のSt. John the Evangelistカトリック教会でしめやかに持たれ、吉松泉姉が合同聖歌隊に参加しました。

予定:

* 9月24日(土) The Paramus合同メソジスト教会にて、Palisades支区(吉松牧師が所属)の新しいDistrict

Superintendent支区長に就任する Rev. Wayne Plumstead任命式があり吉松牧師も出席します。プラムステッド牧師が日本語伝道にも更なる理解を示してくれるようお祈り下さい。

* 10月9日、リンゴ狩り、午前11時30分教会から出発。午後の礼拝は4時からです。

* 10月23日(日) 午後4時にSpecial Ministry to Japanese

(SMJ、日本人特別牧会)の新しいディレクターに就任したテリノ鈴木尊子牧師の按手礼式があり、吉松牧師も式に出席します。

* 同10月23日の日本語礼拝では、この春アライアンス神学校を卒業し、現在メソジスト教団の牧師になる準備をしている伊与田昭夫師が説教を取り付けてくださいます。伊与田師はかつて日米合同教会で吉松牧師(その頃は大学生)がら日曜学校で教えていた時の生徒でもあり、この夏キャンプにカウンセラーとして参加し奉仕して下さいました。

* 10月31日から11月18日まで吉松牧師は休暇を取ります。その間、11月6日未定(追ってお知らせいたします)、13日は合同メソジスト教団NJ教区、信徒伝道者、石倉久美子姉をお招きします。皆様、どうぞ礼拝をお守り下さい。

お祈りと献金の御協力をお願いします。チェックのあて先はUMC-

JAとし、どのプログラムに献金したいか明記してお送り下さい。

* 自然災害被害者の為、日本の東日本大震災、アメリカのハリケーン・アイリーの被災者の為

* 来年2012年に開かれる第4回東部日本語教会合同ファミリーキャンプの為

* ハーベスト・タイムのミッションの為

* 消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)に送ります。JOCS海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。

* アフリカの恵まれない子供達やエイズの患者の為に特別献金をしています。

* パターソンの社会福祉団体CUMAC/ECHOの為に。CUMACは合同メソジスト教団に属し、貧しい人達の為の炊き出しと路傍伝道をしています。

教会の住所：

UMC-Japanese Ministry

The Church of the Good Shepherd, UMC.

326 New Bridge Rd. Bergenfield, NJ 07621

英語オフィス(201) 385-4100

ホームページ：<http://www.umc-japan.org>

English Website: www.cgs-umc.org

牧師館：(201) 338-2744

吉松牧師 jun.yoshimatsu@gmail.com

教会学校担当：吉松 泉姉

izumi.yoshimatsu@gmail.com